

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
042081_角田市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	各学校で募集している学校支援ボランティアで充足していない内容があり、課題となっている。	学校が必要としている具体的なボランティアの内容を記載した、ボランティア募集のリーフレットを作成し、全戸配布した。	リーフレットの他、活動内容をホームページ等で周知し、ボランティア募集を行う。	学校が必要としている支援内容に対して、ボランティアを派遣できるように、登録者数を増やす。また、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民の参画により、地域全体で子ども達の成長を支え、地域の人と人とのつながりをつくる。	各学校が求める支援内容に対してボランティアに登録した市民の数	35	件	42		
042081_角田市	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	全国的に人口減少、少子高齢化となっている今日、学校を核とした地域と連携・協働の取組を通じて、子どもたちに地域への愛着や誇りを育み、これからの将来を担う人材育成を図ることが課題となっている。	地域学校協働本部を立ち上げ、目標案について意見交換をし、各小中学校の地域学校協働活動の計画について情報交換を行った。	地域学校協働本部会議や地域学校協働活動ネットワーク会議を引き続き開催し、各小中学校区の地域学校協働活動の実施状況や成果等について、情報交換をおし、相互のネットワークを構築し事業の更なる推進を図る。	地域への関心や地域貢献の意欲について、前向きに捉える児童生徒の割合を全国平均値と同等にする。 ○質問事項「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」	小学6年生、中学3年生の「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査の中から、児童生徒の地域や社会に関わる質問事項を活用し、児童生徒の意識を全国平均値と比較。	小6 -2.1 中3 +3.3	%	小6 0 中3 +3.3		